

第8回 沖縄21世紀ビジョン

農作物の干ばつ被害軽減と収量・品質向上へ向けた農業農村整備事業の取組
～県営かんがい排水事業の実績と効果～

1 沖縄県の現状

沖縄県は年・季節・地域的に降水分布の変化が大きいこと、河川の流域面積が小さいこと、地中の保水性が乏しいことなど気象・地形・地質的に水資源に恵まれず、恒常的な干ばつ被害に悩まされています。このような状況から、農業用水源や畑地かんがい施設の整備が急がれています。



干ばつ被害を受けたサトウキビ

2 県営かんがい排水事業

干ばつ被害の軽減に向け、県では県営かんがい排水事業に取り組んでいます。本事業により、地域特性に応じた農業用水源(貯水池・ため池)や畑地かんがい施設(スプリンクラー・給水栓・給水所)の整備を進めています。



貯水池



給水栓



スプリンクラー

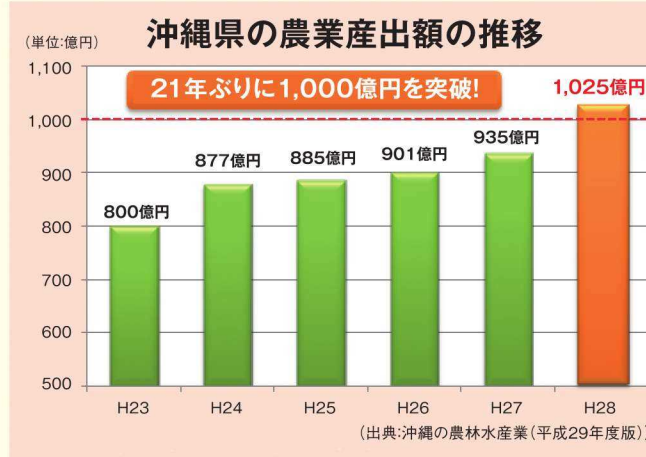
3 事業の実績と効果

沖縄県における平成28年度までの事業実績としては、農業用水源の整備率が62.1%、畑地かんがい施設の整備率が48.2%となっていて、整備が完了した農地においては、安定した農業用水が供給されることで、干ばつ被害が軽減され、農作物の収量増大や品質の向上、価格の上昇に寄与しています。



マンゴー

さらにはマンゴーなど高収益作物への転換も図られています。その結果、沖縄県の平成28年農業産出額は1,025億円となり、21年ぶりに1,000億円を突破するなど好調に推移しています。県としては、引き続き、沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「亜熱帯性気候等を活かした農林水産業の振興」に向け、加速度的な事業推進に取り組んでいきます。



問い合わせ

農地農村整備課 電話:098-866-2285 FAX:098-866-2879
村づくり計画課 電話:098-866-2263 FAX:098-869-0557

広告

赤土 de ふえすていばる 開催!!

沖縄県は美しいサンゴ礁の海に囲まれており、わたしたちはサンゴがもたらす自然の恵みに支えられながら生活しています。しかし、その美しいサンゴ礁の海も、まとまった強い雨が降り、赤土や灰色のジャーガル等の土壌が流出してしまうと濁ってしまいます。赤土等はサトウキビやパインアップルなどの作物を育てたり、赤瓦の屋根やシーサーなどの焼物に使われたり身近なものです。しかし、開発事業や農地などにおいて、流出防止対策がされていないと不十分だと、降雨時に流れ出した赤土等が、濁水となって川や海に流れ込み、河川・海域の生態系や観光、水産業にも影響を及ぼします。



赤土が海に流出している様子

赤土等の流出を防ぐには、開発を行う人や農業をする人だけではなく、その周りの人々が一体となって、赤土等の流出を防ぐことを学び、一緒に助け合いながら対策をとれるようにすることが大切です。

そこで、沖縄県では、赤土等流出問題を広く一般に知ってもらうために、住民参加型イベント「赤土 de ふえすていばる」を開催しています。イベントでは、実際に赤土等に触れ、土壌の特徴や色の違いなどを体感することができます!身近な赤土等に触れることができるこのイベントに参加してみませんか。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

主なイベント 草を使ったおもちゃ作り、どろだんご作り、科学実験ショー、パネル展示、カルタ遊びや釣り堀式クイズなど、遊びをとおして楽しく学べるブースがたくさんあります!



イベント1 赤土キャラクター「もっちゃん」お披露目!

赤土のマスコットキャラクター「もっちゃん」が誕生しました!「もっちゃん」は、畑の土が流れて行くことを悲しんだ土の魂がツチトリモチの姿になって表れました。今後様々なイベントに参加し、赤土流出を防止するために活躍する予定です。もっちゃんと一緒に写真撮影はいかがですか?



イベント2 赤土等流出実験! 模型を使って陸から海へ、赤土が流れていく様子を観察しよう!



イベント3 キャンドル作り、土のめりえ作り 赤土を使ってキャンドルや土のめりえを作ろう!

開催日時 2018年12月15日(土) 13:00~17:00 場所 名護21世紀の森体育館
運営事務局 (株)沖縄環境保全研究所 (098-934-7020) 参加費 無料

問い合わせ

環境保全課 電話:098-866-2236 FAX:098-866-2240